

令和 5 年度事業報告

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

令和 5 年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が、季節性インフルエンザと同じ 5 類に移行し、社会活動や経済活動の正常化が進みましたが、円安や物価高騰など、経済状況は依然として先行きが不透明な状況が続いています。

このような中、契約金額は令和 5 年 4 月より事務費率を 10%に改定したことや、派遣事業におけるクーリング期間の影響がほぼ無くなったことにより、前年度比 11.4%の大幅な増加となりました。

11 月には、地域班長を中心に、初めての試みとして「飛躍するシルバーのつどい 2023」を開催し、会員及び三郷市在住の 60 歳以上の方々約 130 名が参加され、数多くの好評の声を頂きました。

昨今、全国的にシルバー会員が減少傾向にも関わらず、当センターでは女性会員の割合が増加しており、令和 5 年度は 4 割を越えました。今後も会員の退会抑制と会員増が課題となります。

また、当センターでは公益法人として事業の適正な運営と法令順守の徹底に努め、中長期計画「後期計画」に則った事業を進めてまいりました。

事業実施状況は、会員数 1,141 人、請負事業は受注件数 1,617 件、就業延べ人数 7 万 1,352 人、契約金額 3 億 1,646 万 8,797 円、多様な働き方が可能な派遣事業は受注件数 113 件、就業延べ人数 2 万 8,847 人、契約金額 1 億 7,209 万 730 円となりました。請負事業及び派遣事業の就業率は 77.1%、契約金額の総合計は 4 億 8,855 万 9,527 円となり、昨年度の実績を、4,995 万 4,516 円上回りました。

今後も厳しい状況は続きますが、当センターがさらに発展するためにも、会員の皆様をはじめ、市、関係機関、民間事業所並びに市民の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以下、主な事業とその成果について報告いたします。

事業の実施状況

（１）中長期計画の推進

当センターの将来の運営方針と行動計画となる中長期計画（後期計画）に則り、各事業を推進しました。後期計画の期間は、令和３年度から令和７年度の５カ年です。

（２）就業機会の拡大

会員に適正かつ公平な就業機会の提供と長期就業者の是正等を図るため、安全・適正就業委員会を中心として、就業の基準に関する要綱の順守及びローテーション就業の推進に努めました。また、事務局窓口にある就業案内のほか、ホームページや各公共施設等に「お仕事情報」を掲示し、広く公平な就業機会の提供に努めるとともに、「未就業会員向けの就業相談会」や「出張就業相談会」を開催し、未就業会員をサポートしました。

さらに、就業開拓・創出のため人手不足分野の発注者をはじめ地域住民の方々にもシルバー事業を積極的に周知し、就業機会の拡大を図りました。

また、シルバー事業の多様なニーズに対応し、事業計画に基づいた会員の就業能力及びサービスの質を向上させるため、センター独自の講習会として、刈払機の取扱い講習、植木剪定講習、自転車リサイクル講習、接客マナー講習、家事援助・清掃講習、襖・障子張替え講習の６事業６講習を実施し、１０日間で延べ９９人が受講しました。

地域班長・副班長及び職群班リーダーとしての心構えを学び、円滑な職務の遂行を図るためリーダー研修会を開催し、３１人が参加しました。

労働者派遣事業及び有料職業紹介事業に関しましては「公益財団法人いきいき埼玉」の実施事業所として新たな派遣先の開拓、派遣事業に関する諸規程の整備、情報の収集、派遣元責任者講習及び実務者研修に参加し、派遣事業の推進に努めました。

（３）安全就業の推進

安全意識の徹底を図るため、安全・適正就業委員会委員と事務局職員が１１回、３２カ所の就業現場を訪問して会員の健康管理を奨励し、安全保護具の着用を徹底しました。

安全講話会は、埼玉県吉川警察署による「特殊詐欺被害防止」及び「高

高齢者の交通事故防止」の講話と、健康管理として三郷市いきいき健康部健康推進課による「すこやかみさと健康体操」を開催しました。講話会には32人の会員が参加し、安全意識、危機管理意識の高揚を図ることができました。また、すこやかみさと健康体操では、健康体操普及スタッフの指導を頂きながら身体を動かし、怪我の予防と心身のリフレッシュを図りました。

令和5年度は会員の傷害事故5件・賠償事故2件、計7件発生しました。今後も、より一層の安全就業の徹底を図り、安全な機械への取替えや積極的な意識啓発・事故分析・原因究明と事故発生を未然に防ぐ対策の協議・検討を行い、事故防止対策・安全意識の向上に努めてまいります。

（４）普及啓発活動の推進

事業の積極的なPRと新会員を募集するため、10月下旬から11月中旬にかけて、啓発活動及び会員増強活動を行い、市内全域に47,627枚のチラシを配布しました。

会員への情報伝達を着実にを行うため「シルバーみさと」やホームページに適宜仕事の情報や事業のPR等の記事を掲載し、就業機会の拡大及び入会促進に努めるとともに、SMS送信サービス（ショートメッセージサービス）を積極的に活用しました。

（５）ボランティア活動

シルバーの日に合わせ、「シルバーの日ボランティア活動」を開催しました。当日は58人の会員と共に、シルバー事業の啓発及び三郷中央駅前におどり公園の除草・清掃活動を行いました。

（６）組織体制の強化

入会希望者説明会では、役職員が入会のしおりや「公益財団法人いきいき埼玉」が制作したDVDなどを活用してシルバー事業の基本理念や就業に関する現状等の説明を行い、入会希望者（257人）にセンター事業をPRしました。

事務局と地域班長が連携して地域班活動を推進し、会員への情報伝達や地域班組織の機能強化を図りました。

会員の自主的な組織運営と良好な職場環境を目指し、職群班（リーダー

88 人）の編成と増強に取り組みました。

（７）会員相互の連携強化

地域班長を中心とした初めての試みの「飛躍するシルバーのつどい 2023」を開催しました。また、会員相互の連携と親睦を図るため、地区懇談会（地区参加者 187 人）を実施しました。

地区の自主活動として、「自転車走行時のルール」「口腔ケア講座」等を開催し、併せて意見交換（参加者 90 人）を行いました。